

### 第3回 学校運営協議会 令和2年3月9日（協議）

本校校長室において、第3回の学校運営協議会を開催しました。今回はコロナ禍での運営協議会開催となりましたので、少人数、短時間での開催としました。公務のため大城京子委員が欠席となり、学校側からは、校長、教頭、首席、事務長、の出席で実施しました。

今年度最後の運営協議会として、この1年の教育活動の報告や評価結果に対して、委員から助言をいただくことにより、成果と課題を確認しつつ、次年度に向けた方向性を決定していくものとなりました。

#### 内容

#### 1. 協議会 15:00～16:30

##### ① 学校長挨拶

##### ② 協議事項

- ・授業アンケートの結果について
- ・学校教育自己診断結果について・分掌等の今年度総括について
- ・SGH及び後継事業 について
- ・学校経営計画及び学校評価について
- ・その他

#### 2. 委員からの意見等

##### 【協議】

- ・授業評価アンケートについては、毎年、生徒の成長度、授業作りでの活用について話題になるが、全学年で生徒の学習への意識が上がっており、1年間の成長が見られ、授業にも相違工夫が見られて、大変良い結果である。
- ・なぜ勉強するのかという核心にふれるような授業や取組みが広がると面白いと思う。
- ・どの学年でも、生徒取組み1の予習復習が不十分であることが、グラフに表れている。この課題を克服すべき、方法を考えてみてほしい。
- ・学校教育自己診断を見ると、家庭学習について、まだまだ課題が見られる。活字を読む習慣を全員につけさせる必要がある。予習をしっかり行い、授業に臨むのが本来の姿である。
- ・家庭での学習時間が短くとも、放課後なども活用し学校でしっかり勉強し、授業で理解度、修練度が高ければ、問題ないのかもしれない。学校での授業の充実度が重要である。
- ・保護者がHPを見てくれていることは大変心強い。HPの認知度が上がってきていることは、好ましいことである。
- ・先生方の自己診断結果が高いことはうれしいことだ。
- ・「この学校に入れてよかった」のポイントが高いのは大変いいことである。
- ・能勢分校は素晴らしい取組みを次々と展開しており、頑張っている。SGH研究で生徒は自信を持った。多方面から協力を得て、それが生徒に還元されていると感じる。能勢町が学校の取組みに協力的になっており、町との連携を一層強化することが望まれる。